

お問い合わせ・お申込み

徳島県立総合教育センター
学校経営支援課 経営支援担当
電話：088-672-6420
Fax：088-672-6411

推進事業コーディネート・プロモーション担当
株式会社あわえ
電話：0884-70-5831
Fax：0884-70-5832
info@awae.co.jp



デュアルスクールの詳細は
ホームページをご覧ください

DUAL SCHOOL
デュアルスクール



GOOD DESIGN AWARD 2022
GOLD AWARD

実施にあたっての詳細

- ・「区域外就学願」の届出により、徳島とお住まいの地域の2つの市区町村教育委員会が協議し承認されれば、住民票を異動させずに転校することが可能です。
- ・期間や回数は個人の希望に合わせて調整します。
※初回については原則2週間の制限がございます。
- ・徳島県の小中学校には、学習進度の違いを調整するための教員を配置し、児童・生徒の学習を支援します。

対象となる児童・生徒

- ・三大都市圏（首都圏・中京圏・近畿圏等）及び徳島県内の公立小中学校に通学する小学1年生から中学2年生までの児童・生徒。
- ・保護者と共に市区町村内で生活できる児童・生徒。
- ・社会や学校の規則・マナーを守り、他の児童・生徒と協力して落ち着いた学校生活を送ることのできる児童・生徒。

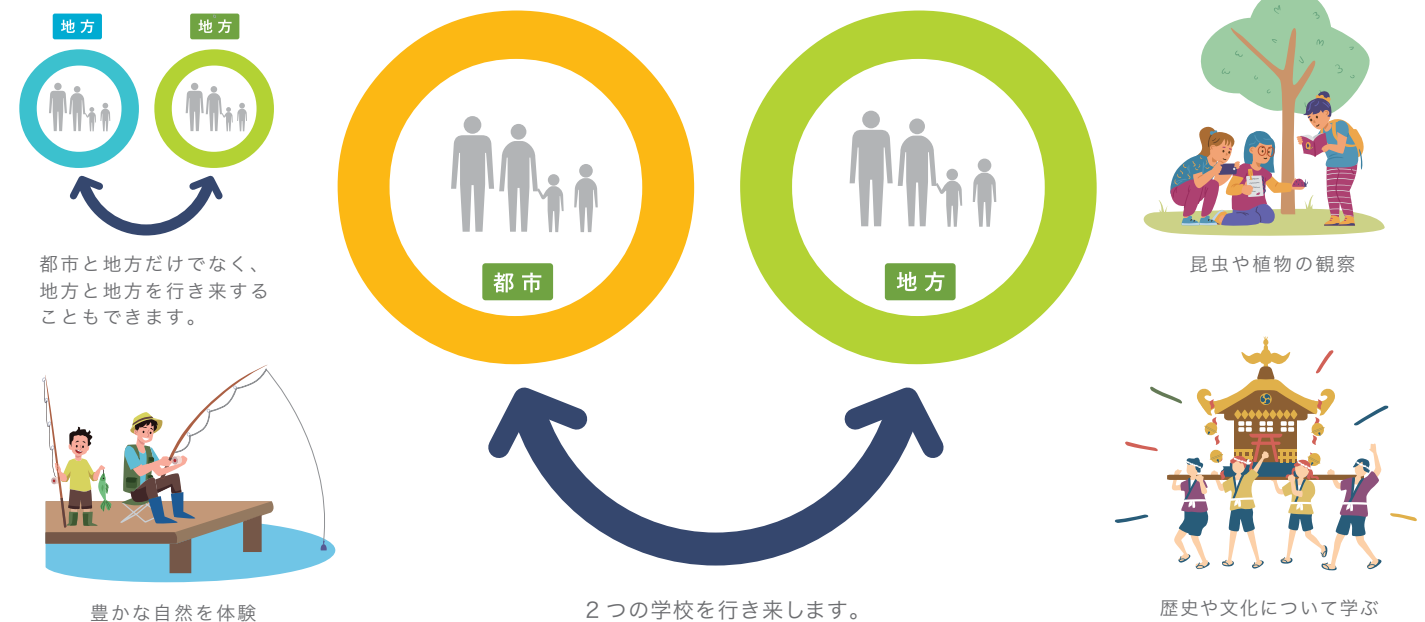
デュアルスクール成功の鍵

～地域での暮らしを家族で楽しむために～

- ①お客さまではなく、一緒に楽しめるパートナー
参加する際には、新しい学校と一緒に作るパートナーとしての意識を持ちましょう。短い期間ですが、ここでの出会いが、デュアルスクール終了後も続いていく大切な友人関係になります。自らが率先して楽しく過ごし、積極的に周囲と関わってみてください。
- ②地域に対する敬意を忘れない
デュアルスクールで過ごす地域は、今まで住んでいた地域とはルールや習慣が異なります。例えば、ゴミの分別方法や回収のルールが違ったり、就寝時間が早かったり。郷に入っては郷に従い、地域のために活動している住民の方々への敬意と感謝を忘れず、「違い」を豊かで多様な地域性として、味わってみてください。
- ③受入先学校の一員
受入先学校の先生方やお友だちは、デュアルスクールでやってくる新しいお友だちをクラスの一員として迎えてくれます。授業の進み方やルールに戸惑うこともあると思いますが、そんな時こそ笑顔で、自ら前向きなコミュニケーションをとってみてください。

デュアルスクールとは

在籍校と違う学校、2つの学校を行き来し、それぞれの良さを知り、複数の視点と多様な価値観が育まれる「新しい学校のかたち」です。豊かな自然の中、身をもって体験する昆虫や植物の観察。地域の方々に協力をいただき、歴史や文化について学ぶ総合学習。今までとは違う体験が、学校生活という日常の中で体験できるデュアルスクールに来てみませんか。



あなたのまちとわたしのまち、どちらの良さも豊かさも感じ取りたい子どもたちへ



実施までの手続き

1 実施地域の選定

・「海の近くがいい!」、「山側がいい!」など徳島での生活を想像しながら実施希望地域を選定ください。

2 滞在施設、候補学校の選定

・実家や親戚宅、友人宅など滞在する施設が借りられる場合はそちらをご利用ください。
・滞在施設のあてがない場合は、「住んでみんで徳島!」サイトを参考に滞在施設を選定ください。
※ご希望される地域に滞在施設がない場合はお問合せください。

3 実施時期の選定

・初回については原則2週間の制限がございます。
・学校が休みの期間は実施できません。

4 ヒアリングシートの提出

・ヒアリングシートの必要項目にすべて記入ください。
・特別な理由がある場合を除き、ヒアリングシート提出後の時期や候補学校の変更、キャンセル等はできませんので、家族で相談してから提出ください。



平成28年
令和3年

事例

DUAL SCHOOL

GOOD DESIGN
AWARD 2022
GOLD AWARD



東京都
↓
徳島県美波町

- ・学 校 : 美波町立日和佐小学校
- ・学 年 : 2年生~4年生の3年間、
通算5回実施
- ・期 間 : 2週間
- ・きっかけ: 母親が働く企業(本社は東京)が
美波町にサテライトオフィスを
開設

体験してみる

東京にいても在宅ワークはできると思いますが、子どものことを考えると、ある程度余裕を持って、仕事もできて子どもも遊べるスペースがあることが重要になって思います。東京の家では、私が仕事に子どもは自由に遊ぶことができないし、逆に子どもが遊んでいる時には私が仕事に集中できない。美波町で滞在した施設は、オフィスと居住スペースが一緒になっているので、私は仕事に集中できましたし、子どもも訪ねてくる近所の友達と自由に遊べていました。また、母親が働いている姿を見ているからか、自ら家事なども手伝ってくれるようになって、子どもの成長を感じることもできましたね。



東京都
↓
徳島県海陽町

- ・学 校 : 海陽町立穴喰小学校
- ・学 年 : 1年生~2年生の2年間、
通算5回実施
- ・期 間 : 2週間
- ・きっかけ: 母親の実家が海陽町。同町での起業
などに関心があったため実施を決意

体験してみる

東京での生活と比較すると、たくさんのお会いがありました。息子は恥ずかしがりなのですが、初日乗り越えたら、みんなとも馴染み、大変生き生きしていました。学校から帰宅しても「海行きたい!公園行きたい!」と言う。公園の規模も東京と違い、とてもダイナミックなので楽しかったのだと思います。地域との交流もあり、一緒に藍染体験に参加して一次産業の大切さを学ぶことができました。子どもにとっても、親である私にとっても、このデュアルスクールで、人生の視野が広がったと思います。東京で生まれ育って東京で仕事をする、ということが"普通"になってしまっていたのですが、この経験で子どもが色々な場所で生活することが"普通"になればと期待しております。この年齢からたくさんの人と出会い、刺激を受けた息子の成長が楽しみです。今後もまた利用したいと考えています。



東京都 ⇄ 徳島県美波町

- ・学校：美波町立日和佐小学校
- ・学年：小学3年生、5年生
※兄弟で実施
- ・期間：2週間
- ・きっかけ：家族との時間を犠牲にすることなく、サテライトオフィスでの業務に従事するため。

体験してみ

普段とは違う場所での生活・通学体験を通じて、子どもは少し遅くなった感じがしますし、普段の何気ない会話が増えました。子どもの視野を広くしてあげたいな、と思っていたのでちょうど良い機会だったと感じます。サテライトオフィスで勤務しながら家族と過ごすことができ、安心して仕事に取り組むことができよかったです。



東京都 ⇄ 徳島県吉野川市

- ・学校：吉野川市立知恵島小学校
- ・学年：小学4年生
- ・期間：2週間
- ・きっかけ：母親の実家が吉野川市。帰省するタイミングで田舎での暮らしと学校体験をさせたかったから。

体験してみ

徳島と東京の違いを知ることかと思ったら、そうではなくて、違う環境の中の同じ部分に着目していたところに驚きました。東京のあの子と徳島のあの子は、こんなところが同じで楽しいとか。学校と家と限られた世界で生きる子どもにとって、そういった視点を持てたことが一番良かったなと思います。



東京都 ⇄ 徳島県三好市

- ・学校：三好市立箬蔵小学校
- ・学年：小学4年生、6年生
※姉妹で実施
- ・期間：3週間
- ・きっかけ：忙しい東京での生活から離れ、静かな場所で子供ともっと向き合う子育てをしたいと思ったから。

体験してみ

時間がすごくあるなと感じました。普段、私は仕事に、子どもは習い事に忙しくて、家で一緒に座っている時間もあまりなくて。こっちだと予定がないから「今日は何しようか」と交わす言葉も増えました。予定がない、忙しくない、そんな「余白」が私や子どもたちの心の余裕をつくってくれた気がします。



東京都 ⇄ 徳島県阿波市

- ・学校：阿波市立久勝小学校
- ・学年：小学2年生、4年生、6年生
※兄と妹2人で実施
- ・期間：2週間
- ・きっかけ：移住と就農を検討中で、何度か阿波市に滞在経験あり。子供たちが移住後の生活になじめるか最終確認のため。

体験してみ

移住に向けての最終確認だったのですが、上の子も下の子も、学校生活によく馴染んでやれていたようで安心しました。放課後や週末にはお友達と遊んだり、農作業も率先して手伝ってくれたり、移住後の子どもたちの反応や生活が少し不安だったのですが、それがクリアになったので良かったです。



大阪府 ⇄ 徳島県美波町

- ・学校：美波町立日和佐小学校
- ・学年：小学1年生、3年生
※姉と弟で実施
- ・期間：2週間
- ・きっかけ：二拠点居住を検討中。移住イベントで美波町を知ってから定期的に遊びに来ていたが、もっと地域の生活を知りたいと思ったから。

体験してみ

子どもが子どもらしく、大人の私たちもすごく人間らしくいられる、田舎っていいなと感じました。友達と喧嘩しても言いたいこと言って次の日には仲直りするよな、子どもらしい良い関係が築けていてすごいなど。都会だと遠慮しちゃう関係もこっちだと積極的にいけるし、ストレスが少ない。子どもにも親にもすごく貴重な時間だと思っていました。



東京都 ⇄ 徳島県美波町

- ・学校：美波町立日和佐中学校
- ・学年：中学2年生
- ・期間：2週間
- ・きっかけ：父親が美波町の企業で単身赴任中。夏休みで遊びに来た際に本人が日和佐を気に入り、実施を決意した。

体験してみ

田舎には都会にないモノがたくさんある、そのことに改めて気がつきました。東京や海外でも暮らしましたが、美波町の生活はとても楽しそうでした。若いうちから多面的な視点を持てることは親としてとても嬉しい。東京では食べなかった野菜を美味しく食べる、部活に励んだり、前より少し活発になった子どもの姿が印象的でした。

令和4年度

| 事例 |



DUAL SCHOOL



GOLD AWARD

グッドデザイン金賞



埼玉県 ⇄ 徳島県海陽町

- ・学校：海陽町立海南小学校
- ・学年：小学4年生
- ・期間：2週間
- ・きっかけ：以前から子どもとどこか違う土地で生活したいという思いがあり、自然を身近に感じられる海陽町で新しいことを始める勇気や、多様性を身に付けてほしいと思ったから。

体験してみても

埼玉での生活と時間の使い方が変わってくれることを期待していました。実際、期待通りのんびり自分のペースで生活することができました。海南小学校に来てみると、クラスみんなが優しく受け入れてくれ、お友だちがたくさんできたことが嬉しかったようでした。今後もこのような繋がりが続いていくよう、また海南小学校に帰ってきたいです。



大阪府 ⇄ 徳島県上勝町

- ・学校：上勝町立上勝小学校
- ・学年：小学1年生
- ・期間：3週間
- ・きっかけ：子どもに「学校は1つじゃ無い」ということを伝え、多くの学校があり、いろんな人がいることを知ってもらいたかったため。

体験してみても

地方には、公園などの施設が少ないため遊べる場所も少ないと思っていましたが、外に出るとカニやトカゲが歩いていたりして、自然の中で十分楽しむことができました。子どもは学校を2つ知ることができ、世界が倍に広がったと思います。「大阪とは違う学校を見るのが面白い」と子どもが言ったので、できるだけ多くの学校を見に行こうと約束しました。



東京都 ⇄ 徳島県阿波市

- ・学校：阿波市立御所小学校
- ・学年：小学4年生
- ・期間：2週間
- ・きっかけ：都内の学校に通っていて閉鎖的に感じることもあり、地方の小学校に一時的に通い様々な変化や環境の広がりを感じてほしいと思ったから。

体験してみても

考え方が固定されず、子どもの柔軟性が増したように感じました。子どもが大人になっていく過程で何かに悩んだ時、ここでの経験を思い出し、紐づけながら育ててほしいと思います。短期間ではありましたが、家族にとって「すぐく好きな場所」ができたので、やみつきになりそうです。



東京都 ⇄ 徳島県海陽町

- ・学校：海陽町立穴喰小学校
- ・学年：小学3年生、小学6年生 ※兄妹で実施
- ・期間：2週間
- ・きっかけ：母の生まれ育った穴喰の人との交流を通じ、文化や自然について学んで欲しい。そして新しい体験をすることで視野が広がることを期待していたから。

体験してみても

子どもは、穴喰小学校での生活を気に入っているようで、娘は1日目から「楽しかった」と話をしてくれました。東京では仕事で家を不在にすることも多く、一緒にご飯を食べられることがとても新鮮でした。子どもたちが淡々と穴喰の生活に慣れていく姿が見られたので、また来年もデュアルスクールで穴喰に来たいと話しています。



神奈川県 ⇄ 徳島県勝浦町

- ・学校：勝浦町立勝浦中学校
- ・学年：中学1年生
- ・期間：3週間
- ・きっかけ：母の実家に住みながら勝浦中学校に通いたいと思っていた。海外留学も検討しており、日本の田舎生活を体験してから海外に行くことがよりいい体験になると思ったから。

体験してみても

人や物が多いと疲れてしまう子なので、自然がいっぱいの勝浦の生活を気に入ってくれました。神奈川の便利な生活に比べ、勝浦ではちょっとしたことで家族に頼る必要があるため、家庭内での会話が增え、子どもが「ありがとう」と言うようになりました。補助の先生が学校の様子を教えてくれ、娘の新しい一面に驚きがたくさんありました。



神奈川県 ⇄ 徳島県那賀町

- ・学校：那賀町立相生小学校
- ・学年：小学5年生
- ・期間：2週間
- ・きっかけ：都会にはない自然の中に住み、地域の人と交流することで多様な視点を持って欲しい。そして、祖父母の暮らす徳島をもっと好きになるいい機会だと思ったから。

体験してみても

クラスメイトと日に日に仲良くなり、家の中で新しい友だちの名前が飛び交っていました。同じシェアハウスの住人や地域の方とも交流ができ、祖母宅以外にもう1つ徳島に帰る場所ができました。「行くではなく帰る」「帰るではなく暮らす」ということも頭をかすめ始め、今後の生き方や学び方、働き方を考えるきっかけになりました。



兵庫県 ⇄ 徳島県美馬市

- ・学校：美馬市立江原北小学校
- ・学年：小学2年生、6年生 ※兄弟で実施
- ・期間：2週間
- ・きっかけ：デュアルスクールを知り、子どもたちの「行ってみたい」という希望もあり申し込んだ。異なる環境・学校で学ぶことで広い視野、新たな刺激を得ることを期待したから。

体験してみても

児童が少ない分、学校生活では多くの出番をつくっていただき、子どもたちも積極的に行動していると感じました。運動会は神戸の学校と比べ待ち時間も少なく、親も含め全員が参加できる競技が多いため「運動会が楽しかった」と初めて話してくれました。地域の方もフレンドリーに接してくれ、排他的だという田舎のイメージが変わりました。



東京都 ⇄ 徳島県阿波市

- ・学校：阿波市立林小学校
- ・学年：小学6年生
- ・期間：2週間
- ・きっかけ：祖父母の暮らす自然豊かな阿波町で暮らし、都会と田舎の生活の違いを体感してほしい。そして母の母校である林小学校での生活から多様性を感じてほしいと思ったから。

体験してみても

長期休みには祖父母宅に帰省していましたが、近所との交流はありませんでした。徳島で同じ年代の子と交流できたのは、今回が初めてでとても嬉しそうでした。東京で生活しているときよりも学校での出来事を話してくれるようになり、新しい環境で新しい気づきがたくさんあるんだと、子どもが話す量から感じることができました。



東京都 ⇄ 徳島県美波町

- ・学校：美波町立日和佐小学校
- ・学年：小学1年生
- ・期間：2週間
- ・きっかけ：父母ともにテレワーク可能であり、多地域居住に挑戦してきた。子どもの就学が課題であったが、デュアルスクールでは現地で学校生活を送ることができると思ったから。

体験してみても

子どもが自分から「行ってみたい」と主張するようになりました。これまで「危ないからダメ」と言うことも多くありましたが、近くで子どもと一緒に見守ってくれる人がいてくれることで挑戦させてみようという心の余裕ができました。美波町は子育てについて相談できる人が身近にいて、大人みんな子どもを育てようという雰囲気を感じました。



兵庫県 ⇄ 徳島県美波町

- ・学校：美波町立日和佐小学校
- ・学年：小学2年生
- ・期間：2週間
- ・きっかけ：別の環境へ飛び込み、新たなコミュニティ形成の体感による適応力の醸成を期待。現地の友だちから新しい価値観や考え方を学び、見える世界を広げてほしいと思った。

体験してみても

クラスのお友達が積極的に仲良くしてくれ、自分の存在を認めてくれたと娘は強く感じたようです。祖父母がバス停まで送迎してくれたり、学校の話聞いてもらったりと、見守られている安心感もありました。「美波町に転校したいくらい楽しい」というほど、充実した毎日を送り、子どもにとって理想的な暮らしができる環境だと思いました。